

# 1. 汚水処理施設整備方針

## 1.1 効率性・公平性を考慮した整備方針

本町では、汚水処理施設の有する特性、経済性等を総合的に勘案し、社会情勢の変化等に応じた効率的かつ適正な整備、運営手法を選定するために、「菰野町生活排水アクションプラン平成28年3月」を作成しております。計画策定から概ね5年が経過いたしましたので、計画内容の点検を行いました。

今回の点検の結果、5年間の実績で、家屋数、人口に大きな増減がありませんでしたが、表-1の通り、汚水処理施設の整備方針は、これまで通り下水道による集合処理としました。

表-1 今回の汚水処理施設整備方針

No	検討単位区域	都市計画区分	整備面積 (ha)	今回の点検および整備方針 (令和3年3月)	
				家屋数・人口の点検結果	今回の整備方針・考え方
2	川北工業拠点	市街化調整区域	22.70	川北工業地区地区計画が実施されておらず、家屋数・人口の大きな増加は見られませんでした。	<b>下水道による集合処理</b> ※10年概成の目標達成が厳しい状況で、5年間の実績で家屋数や人口に大きな増減が無いことから、次期計画変更(令和8年頃)に向けて、個別処理による整備方針への変更を含めた検討および地域住民への説明、協議が必要です。
3	(仮称)菰野インター付近(潤田地区)	市街化調整区域	49.75	現状では、家屋数の大きな増加は見られませんが、菰野インターチェンジが平成31年3月17日に供用を開始しており、今後、家屋等の増加が予想されます。	<b>下水道による集合処理</b>
5	東江野区域	市街化調整区域	84.45	前回計画から5年経過しましたが、家屋数・人口の大きな増加は見られませんでした。	<b>下水道による集合処理</b> ※10年概成の目標達成が厳しい状況で、5年間の実績で家屋数や人口に大きな増減が無いことから、次期計画変更(令和8年頃)に向けて、個別処理による整備方針への変更を含めた検討および地域住民への説明、協議が必要です。
6	西江野区域	市街化調整区域	74.57		
7	神明地区	市街化調整区域	58.95	前回計画から5年経過し、家屋数・人口に減少傾向が見られました。	<b>下水道による集合処理</b> ※10年概成の目標達成が厳しい状況で、5年間の実績で家屋数や人口に大きな増減が無いことから、次期計画変更(令和8年頃)に向けて、個別処理による整備方針への変更を含めた検討および地域住民への説明、協議が必要です。
8	湯の山地区	都市計画区域外	32.43	前回計画から5年経過し、家屋数・人口に減少傾向が見られました。	<b>下水道による集合処理</b> ※10年概成の目標達成が厳しい状況で、5年間の実績で家屋数や人口に大きな増減が無いことから、次期計画変更(令和8年頃)に向けて、個別処理による整備方針への変更を含めた検討および地域住民への説明、協議が必要です。

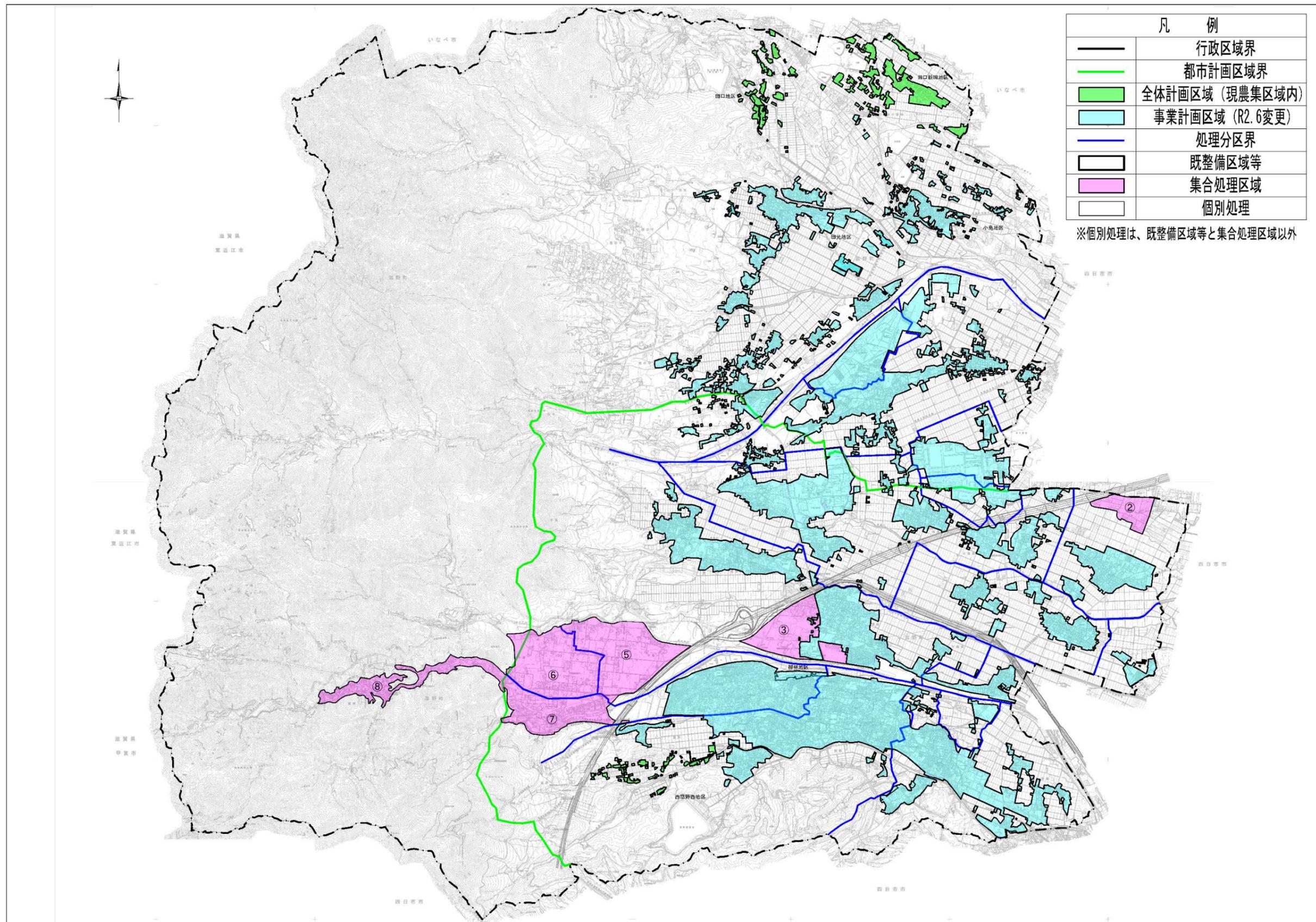


図-1 污水处理施設整備構想図

## 1.2 今後の課題及び取り組み

### (1) 今後の課題

国は、令和8年度末までに10年概成（汚水処理人口普及率95%以上）を目標としております。本町では、図-2の通り、公共下水道の整備を進めておりますが、現状の進捗は、図-3に示した通り、令和元年度末で91.4%です。国の示した10年概成の目標達成には、図-4に示した通り、さらなる汚水処理施設の整備が必要です。

今後は、効率的に汚水処理施設を整備し、さらに汚水処理人口普及率を上昇させ、目標を達成することが課題です。

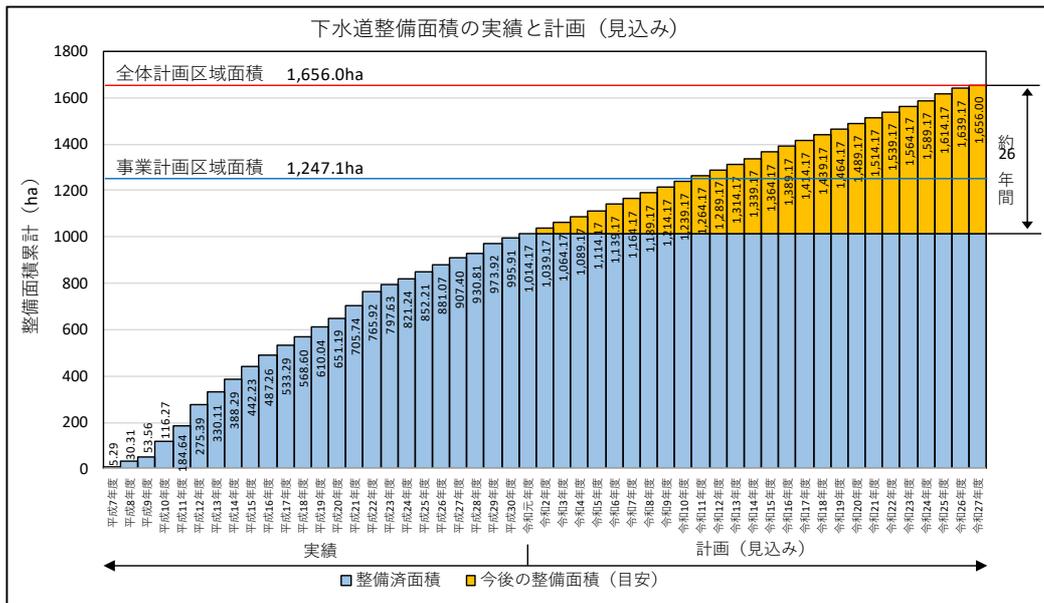


図-2 下水道整備面積の実績と計画（見込み）

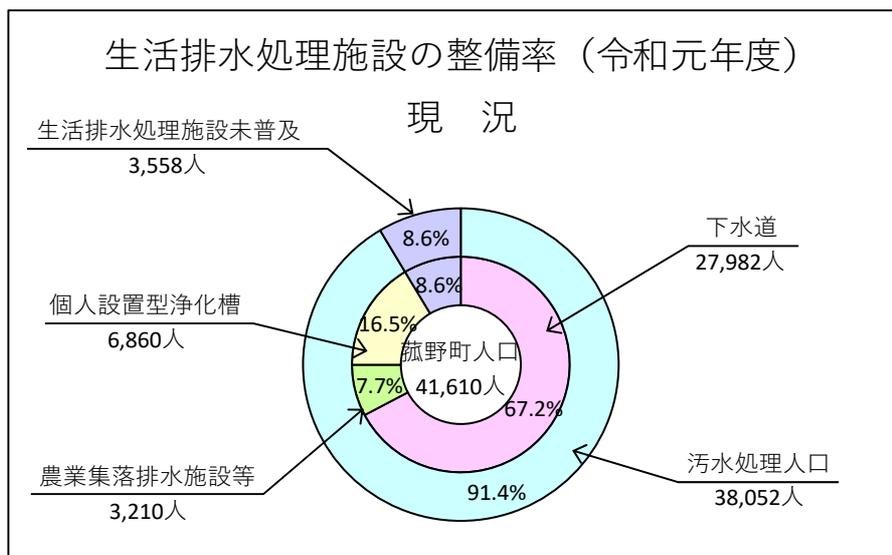


図-3 汚水処理人口普及率の現況

